

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

| | |
|---------------------------------------|--|
| ①研究課題名 | 硬膜下出血の出血機序の病態解明に関する研究 |
| ②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者 | 2014年1月から2027年2月28日までに本学法医学分野で法医解剖された方。 現在行われている研究「申請番号：2018-0224 組織透明化技術を用いた死因究明法の開発（新潟大学法医学分野 助教 小山哲秀）」で得られたデータも使用場合があります。 |
| ③概要 | 頭部外傷の合併症に、硬膜下血腫という脳の周囲に起こる出血があり、死に至ることがあります。通常は重症の頭部外傷で生じるとされていますが、頭部外傷がない場合や外傷が極めて軽微な場合にも生じることがあります。この場合は脳の表面にある動脈が破裂して生じるとされていますが、どうして動脈が破裂してしまうのかは、わかっていません。この研究ではこれまでに当分野で解剖したご遺体で硬膜下血腫やそれに関連した症状を有していた方のデータを収集し、現在行われている研究で得られたデータとあわせて、動脈破裂の原因を解明しようとする研究です。 |
| ④申請番号 | 2022-0045 |
| ⑤研究の目的・意義 | 硬膜下血腫の原因となる動脈破裂がどのようにして生じるのかを調べることが目的で、将来的に治療や予防に役立つのではと考えています。 |
| ⑥研究期間 | 倫理審査委員会承認日から2027年3月31日まで |
| ⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。） | 動脈の破裂がどのようにして生じるのかを調べる目的で過去の解剖資料及び現在行っている研究データを利用します。データは個人が特定されないように匿名化された状態で研究に利用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。 |
| ⑧利用または提供する情報の項目 | 2014年1月から2027年2月28日までに本学法医学分野で法医解剖された方の情報（性別、年齢、既往症、外傷歴等）、解剖結果、死後のCT画像、病変部位の3次元画像。いずれも個人を特定できる情報は含まれません。 |
| ⑨利用する者の範囲 | 新潟大学 法医学分野 |
| ⑩試料・情報の管理について責任を有する者 | 新潟大学 法医学分野 助教 舟山 一寿 |
| ⑪お問い合わせ先 | 新潟大学 法医学分野 助教 舟山 一寿 Tel : 025-227-2146 E-mail : funa-legal@med.niigata-u.ac.jp |